

錦織公園は、丘陵の地形がそのまま生かされ、森林や草地、せせらぎや溜め池など、「里山」の環境が豊かに残されており、数多くの生き物が生息しています。

年が明けて、ようやくツグミの姿や声があちこちで確認できるようになりました。一方、カモのなかまは、種類数も個体数も、例年よりやや少ない状況です。

厳しい寒さのこの時期、木々も葉を落とし、鳥たちの姿も見つけやすくなっています。渡りの小鳥たちがたくましく生きる姿、カモのなかまの暮らしぶりをじっくりと観察しましょう。

冬鳥たちの中には、単独で行動する鳥もいれば、大きな群れになって行動する鳥たちもいます。なぜ単独で過ごすのか、なぜ群れになるのかなどの視点で鳥たちの活動のように目を向けましょう。

小鳥やカモのなかまを襲う猛禽類にも出会えるチャンスがあるかもしれません。

や さ し い き も ち

野外活動、無理なく楽しく

採集は控えて自然はそのままに

静かに、そーっと

一本道、道からはずれないで

気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

持って帰ろう、思い出とゴミ

近づかないで、野鳥の巣

にしこおり 錦織公園定例探鳥会

2026年1月25日(日)



担当: 藤崎 裕 浅野 宏幸
泉谷 一弘 玉邑 悟
山下 保子 石川 良隆
上村 賢 (090-8653-9165)

